

# 経営の現状

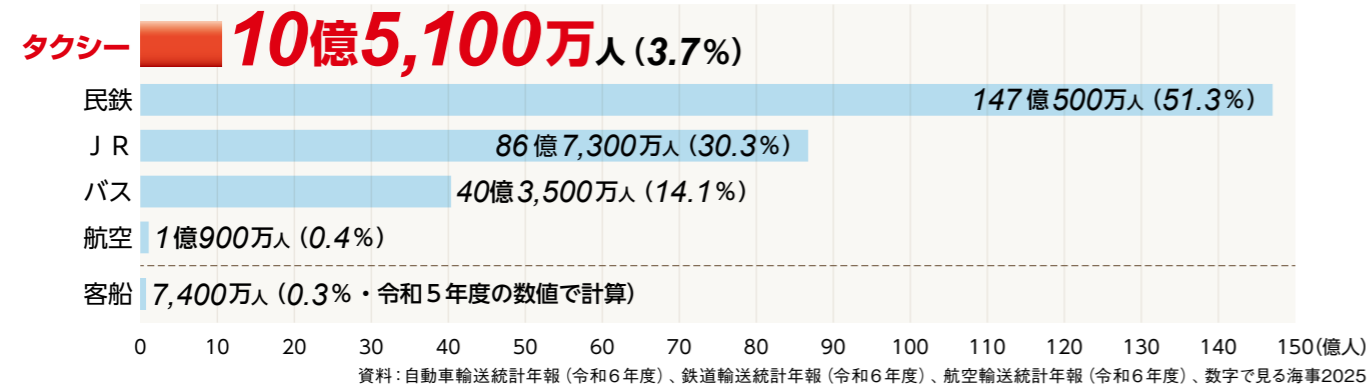
自家用車の普及、鉄道・バスなどの都市交通の整備、人口減少などの要因により、長年にわたりタクシーの需要は減少傾向にありました。

さらに、新型コロナウイルス禍では、人の移動が激減したことによって輸送人員及び営業収入が大幅に減少しましたが、徐々にコロナ禍前の状況に戻りつつあります。

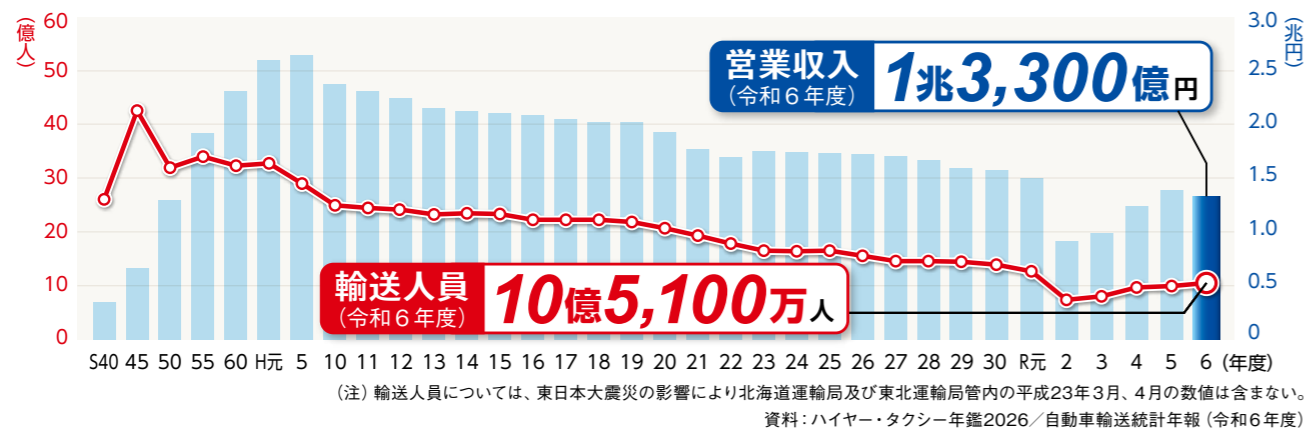
## 交通機関別輸送人員

合計 **286億4,700万人**

(令和6年度(客船のみ令和5年度))

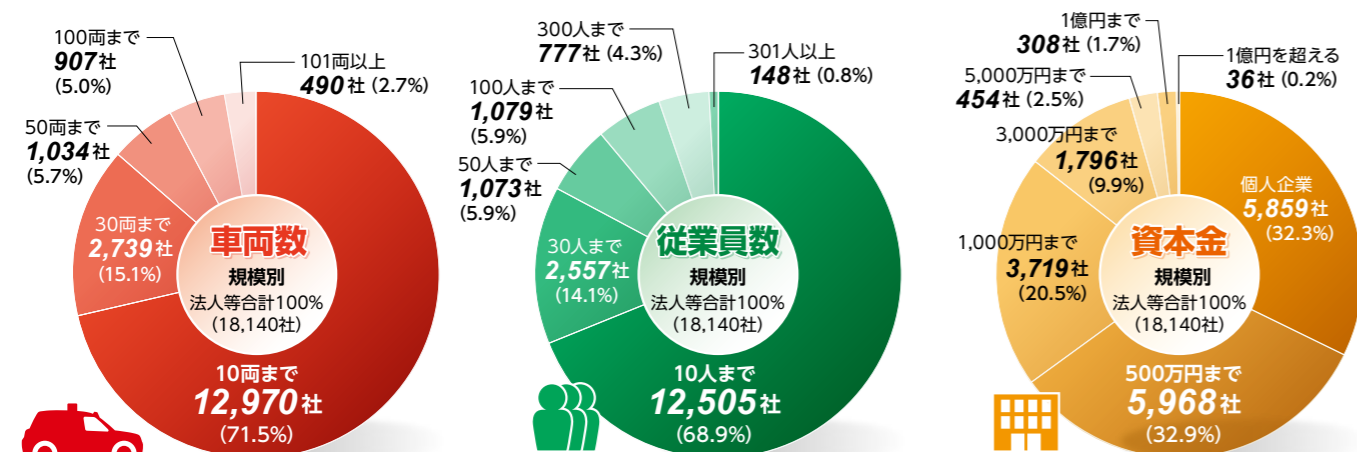


## タクシー輸送人員と営業収入



## 事業規模

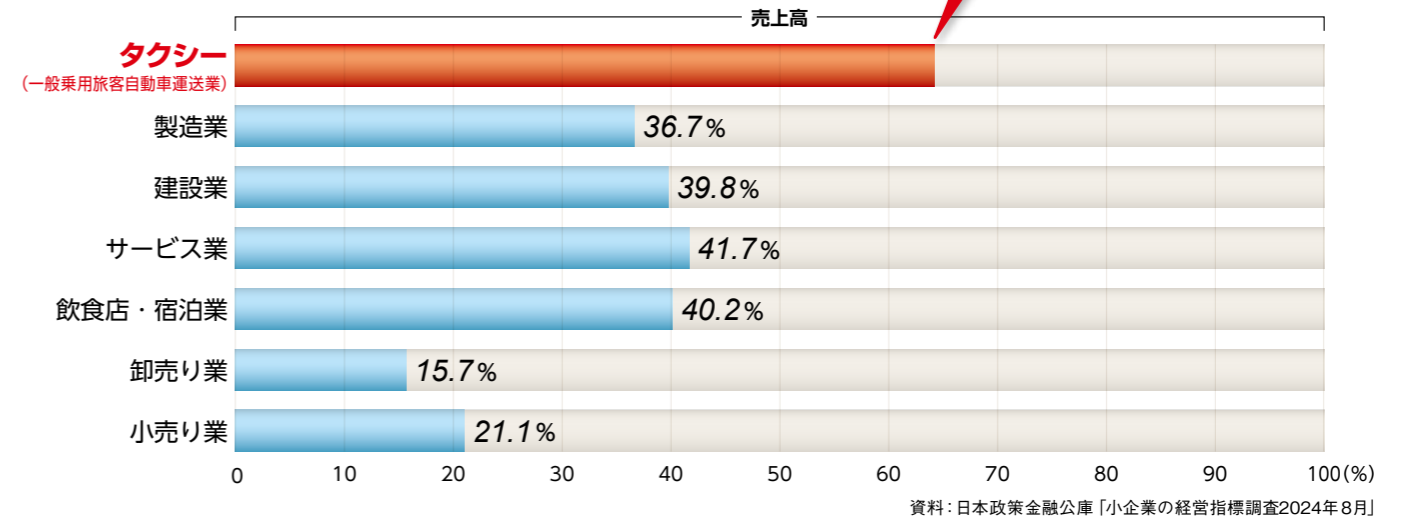
法人タクシー事業者のほとんどが中小零細企業です。



## 産業別人件費率の比較

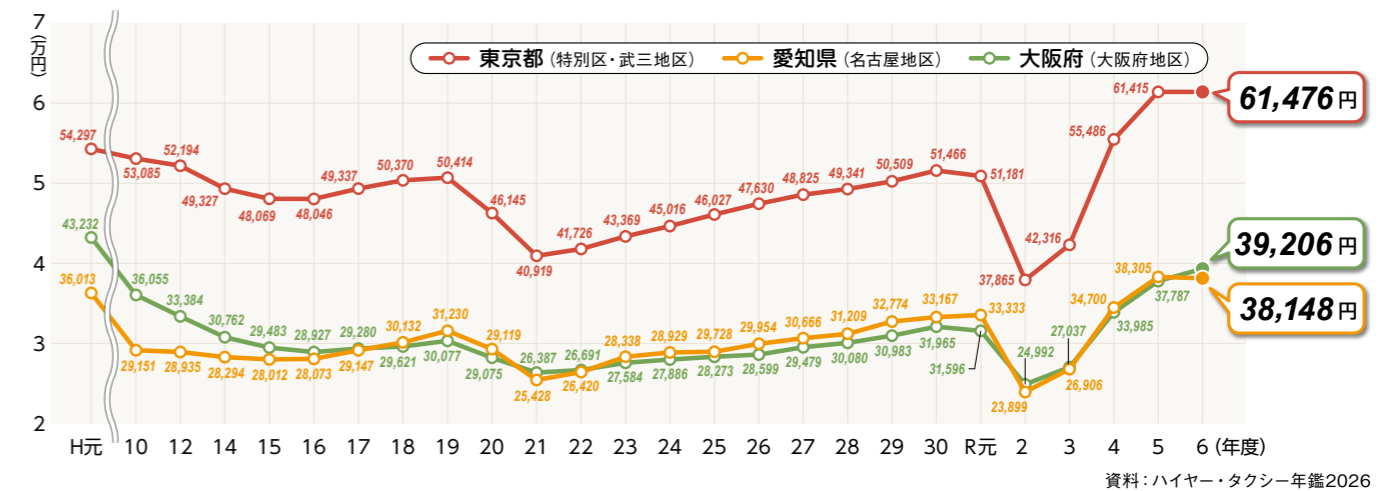
タクシー事業は典型的な労働集約産業で、人件費の売上高に対する比率は他産業よりも高くなっています。

人件費率 (令和5年度) **64.2%**



## 各地の日車営業収入の推移 (法人)

日車営業収入…1日1車当たりの平均営業収入



## 各地の実車率の推移 (法人)

実車率…総走行距離に占める営業収入の対象となる走行距離の比率

